

2026年6月

お客様各位

津信用金庫

令和7年度（2026年3月期）決算について

- ・ 令和7年度決算は、24億8千万円の当期純損失となりました。
- ・ 赤字の要因は、市場金利が上昇する中、債券の評価損の削減と有価証券利回りの向上のため、価格が下落した利回りの低い債券を売却して、より利回りの高い債券を購入するなど収益力強化を目的としたポートフォリオの入れ替えを行ったことによるものであります。
- ・ 自己資本の一部を取り崩したことにより、令和8年3月期末の自己資本比率は18.66%に低下致しましたが、国内基準4%を上回る十分な自己資本を有しており、経営の健全性に問題ありません。
- ・ ご心配をおかけしますが、本業の収益力を示すコア業務純益は、令和7年度決算でも、1億19百万円の黒字であったことに加えて、このポートフォリオの入れ替えにより、収益力強化を見込んでいるため、令和8年度（2027年3月期）決算は当期純利益となる黒字を予定しております。

当金庫はこれからも当地域に根ざす信用金庫として、役職員一同、お客様と地域社会への奉仕・貢献に誠心誠意努めてまいりますので、末永いご愛顧とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。